

英語教育における学習リソースの作成・使用・管理

—授業実践からの考察—

A discussion on production, use and management of learning resources:
from the practical point of view

二ノ宮 靖 史・二ノ宮 寛 子
Yasushi NINOMIYA, Hiroko NINOMIYA

1. はじめに

一般的に学習リソースとは、学習や教育の過程で使用される資料やツールのことを指す。これには、教科書、オンラインコース、ビデオ教材、ワークシート、アプリケーション、図書館の資料、教育ソフトウェア、さらには教員の指導も含まれる。学習リソースは、学習者が知識やスキルを習得するために役立つものであり、多様な形式や媒体で提供される。

英語教育においても学習リソースは多様な形式や媒体で提供される。本稿では、筆者らが担当した英語科目において使用した学習リソースを紹介し、その作成・使用・管理について論ずる。

2. 学習リソース作成・使用・管理の技術

2.1 出席記録・授業時の評価記録

出席記録は授業において基本的かつ重要な情報である。

出席者の名簿を作成することは、履修者全体の情報を一元的にまとめる方法である。昨今ではLMS（Learning Management System, 学習管理システム）で容易に名簿が作成できる。筆者らは名簿を印刷したものを原簿とし、それに記録した出欠情報をLMSに入力したり、授業時の発言や参加度を簡略に記録したりしている。より詳細な情報の記録が必要な場合は、別紙を用意して記入している。

出席カードは、出席情報以外に詳細な情報をメモすることができる。単純な情報は表面に、詳細な情報は裏面に記入できる。また、必要な場合には簡略なアンケート用紙やリアクションペーパーとして利用することも可能である。

科目によっては受講者カードを利用することもある。受講者カードは、情報カード⁽¹⁾に学籍番号と氏名、授業15回分の日付を入れた枠を印刷したものである。この受講者カードに

よって出席を取ったり、授業時の発言や参加度を名簿よりも詳細に記入したりすることができる。また、学生を指名して答えてもらう場合には、受講者カードをシャッフルして誰を選ぶか決めることによってランダムな指名ができる。さらに、質問・課題等のタイプや難易度を記号で記録することによって、後の授業で内容が重ならないよう調整することもできる。グループワークでのグループ分けにも便利である⁽²⁾。

英米の文化 2019
Tue 2

Name:
Student ID:

4/23	4/30	5/7	5/14	5/21	5/28
6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	7/9
7/16	7/23	7/30			

図1 受講者カードの例

2.2 教科書

教科書は、科目を運営する際に重要な役割を果たす。その構成や内容は授業の骨格を成し、学習リソースとして中心的な存在となり得る。特に自作の教科書は、自らが編集者と相談しつつ作成したものであり、内容設定の自由度が高く、準備や授業の展開、評価ポイントの検討などをより的確に行なうことができる。しかし市販するものであるから、他の教員が使いやすいように心がけ、TM（ティーチャーズマニュアル）を充実させる必要もある。

教科書の例としては、二ノ宮・二ノ宮（2008）、二ノ宮・二ノ宮（2011）、二ノ宮・二ノ宮（2013）を参照されたい。これらはニュース記事を題材にリーディングを行ない、練習問題に答える形式の教科書だが、題材は内容が古くならないように、また、新しい追加の読み物を探しやすいように配慮している。

2.3 補助資料

補助資料は必要に応じて作成することができる。具体的には説明プリントや練習問題、後

述するワークシートなどが考えられる。以下に実際の例を示す。

英米の文化

A短大で2012年から2023年度までHN, 2024年度からYNが担当している科目である。1年生が選択する科目で、主に英語圏文化について講じると共に、日本文化についても比較している。半期15回完結のため、各国の文化について特化された既成の書籍や教科書ではなく、筆者らが自作した配布資料を用いている。添付の資料は第3週に使用するものである。第1週と第2週に英語圏の歴史や地理についての概略を説明し、一般的に多くの受講生達が興味を持ちやすい食生活について、ファーストトピックとして写真等を提示しながらこの資料を用いている。受講生は穴埋めのプリントを受け取り、講義を聞きながら自発的にブランクを埋めていく。このトピックの後に人口、地勢、政治、教育、社会等について同様の方法で学んでいく。

(1) Food and Drinks 2			
レストラン	食べ慣れ、持ち帰り① コースミール② ③④⑤ ⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪ ⑫⑬⑭ ⑮⑯⑰ ⑱⑲⑳ ㉑㉒㉓ ㉔㉕㉖ ㉗㉘㉙ ㉚㉛㉜ ㉝㉞㉟ ㊱㊲㊳ ㊴㊵㊶ ㊷㊸㊹ ㊺㊻㊼ ㊽㊾㊿	食べ慣れ、持ち帰り① コースミール② ③④⑤ ⑥⑦⑧ ⑨⑩⑪ ⑫⑬⑭ ⑮⑯⑰ ⑱⑲⑳ ㉑㉒㉓ ㉔㉕㉖ ㉗㉘㉙ ㉚㉛㉜ ㉝㉞㉟ ㊱㊲㊳ ㊴㊵㊶ ㊷㊸㊹ ㊺㊻㊼ ㊽㊾㊿	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
スーパーマーケット	惣菜①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	惣菜①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
惣菜①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	惣菜①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	惣菜①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

(1) Food and Drinks 1				
食料	イギリス ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	アメリカ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	日本 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
食料の種類	肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	果物①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	
肉類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	魚類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	野菜類①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑		

図2 ワークシートの例

日英語比較論

A短大で2012年から2023年度までHN, 2024年度からYNが担当している科目である。2年生が選択する科目で、主に日英語の比較と共に異文化コミュニケーションについても学ぶことができる。半期15回完結で、市販の教科書を用いつつ、筆者らが自作した配布資料を用いて内容の補足としている。日英語比較論では異文化コミュニケーションの理解を深めるために実際に異なる言語文化の背景を持つ人々と交流することをシラバスにも記載しているが、さまざまな事情により、筆者を介して文書にて現地の人々への質問を学生からフォームを用いて回収し、海外の回答者からはそれぞれの使いやすいプラットフォームを使って返答を集めている。プラットフォームの例としてはMessenger, WhatsApp, LINEがある。

2020年11月16日のフォーム（HN→受講生）

フランス，ギリシャ，インド，パキスタン，イギリス，タイ，シンガポール，デンマークの現地人に聞いてみたいその国の文化や言語についての質問を1つ以上書いてください。興味深い質問だった場合には数週間以内にその人へ直接質問し，クラスへ回答をお返しします。

回答（HN→現地の回答依頼者）

ーイギリスは料理があまり美味しくないと言われがちですがイギリス人はイギリスの料理が美味しいと感じるのでしょうか。それともフレンチや和食の方が美味しいと感じるのでしょうか。

ーフランスではパリジェンヌという言葉があるようにオシャレなイメージがありますが，外出の際にユニクロなどのファストファッションを着てると見下されるようなところはあるのでしょうか。

ーイギリスからしたらオーストラリア英語やアメリカ英語はどのように思うのですか？現在ではアメリカ英語が多いように思いますが元を正せば英語はイギリスからであると思います。自分たちで言う方言みたいな感覚なんではないでしょうか

ーシンガポールはなぜ発展したのでしょうか。そして多言語の社会でどのように共生してきたのでしょうか。レディーファーストはシンガポールにもありますか。日本についてどのように思っていますか。

ーデンマークから見て，日本の福祉政策をどう思いますか。デンマークにもレディーファーストはありますか。それについてどう思いますか。

2020年11月30日のフォーム（HN→学生）

ー各国からの返答の中でその通りだと思ったものは何ですか。

ー返答の中で意外だった答えは何ですが。それはどうしてそう思いましたか。

ーこんなことも聞いてみたかったな，という質問はありますか。

ー言語や文化に興味があり，質問してみたい国はありますか。

2020年12月の配布資料

とりまとめた回答は9ページにわたるものであったため、授業ではプロジェクターに投影し、読み合わせを行なった。本稿では2ページに短縮して印刷し配布したものを以下に示す。

Some Thoughts on Each Country and Culture by People who Were Born and Raised There

【Singapore】

1) Reasons why Singapore grew so much

Yeah, S'pore is v small, from the world map most people can't even find us, we was represented by a little red dot, they can only hear us.

At the beginning of our independent at year 1965, with the British are retreating & end of funding for this former colony, we r left on our own. As a little small country With zero natural resources to sell & Lots of mouth to feed of the whole population, hunger & poverty was norm in this third world country. In order to survive, we think how do we attract the investment, so that had job creation for all population so nobody will be go hungry. But there r plenty of other countries In the world for the rich nations & companies to choose to invest for, some more those countries hv mess land & labour forces, why should they bother such a small country like S'pore? In Order for company choose to invest here, we must hv people able to perform the jobs, and do it good. As mentioned S'pore had zero natural resources to sell, S'pore Population was our resources. Our Government strongly emphasis in people education, so that able to up to the jobs, wherever those companies demand or require. There are total free tuition fee for all singaporean from primary school to secondary school (10 years), it also mandatorily. What could be worse if Population illiterate & unskill. 'Skill Future Singapore' As we already in the 21 century, and with the advent in internet, everything happens in split second. Things is happening v fast, so today the skill we master might obsolete tomorrow. So how S'pore face this challenge? So our government come out this initiative call 'Skill Future Singapore', to constantly equip current workforce will update skills for tomorrow world. All Singaporeans aged 25 and above (Age 99) will receive SkillsFuture Credit of S\$500 are eligible to use their SkillsFuture Credit to any eligible courses they like, like IT, software coding, management, finance, or even foreign language courses

they like, so that to equip the whole Population, no matter young & old, always ahead of other countries, and make ourselves more favourable & attractive in the world for investment. Been Good Is not enough, you must be "Extraordinary"

Above was mentioned by our leaders, been v small country, it been v easy sideline in United Nations, and our voices might not been heard. So in S'pore if we want to have technology or other cooperation with other big & advance countries like Japan & US, you must have the same caliber, in order for them to notice & take us seriously.

So we strives to be best In every field, like you had mentioned in finance, education, trade, sometimes above the standard of developed world, so that to gave us a 'passport' for more cooperation with more advance countries, so to ensure S'pore survival, and benefits ours people. No corruption

The success of S'pore today was attributed to strong leadership and meticulously Sounded policies. And the zero tolerance of corruption on leaders, public services, and every civil industries. Again back to the beginning I stated: S'pore is small, from the world map most people can't find us, we was represented by a little red dot, but we are a shining red dot.

2) About languages

There are 4 official languages used in S'pore, been English Chinese Malay India, so as to represent our 4 races. Bilinguals and tri-linguals are very common in S'pore, it also made more advantage in communicating with most other leaders like East Asia and south East Asia, not to mentioned our close Australia and New Zealand. As nothing better to talk to them in their native language, and maintain close relationships. So we have informal leaders retreat with Indonesian & Malaysia, just to meet up and chat, or a phone call to Jacinda Ardern, the New Zealand prime minister. But now we had a worry trend that more & more S'pore families speak only English but not our mother tongue at home. Our Statistics had manifest that more Chinese families, follow by Malay, speak only English within the family members. Believe it sound strange to you. Why? Because in our education system, all other subjects was taught in English. The only subject not taught in English was mother tongue (depends which race you belong). It can't help that when you go hospital, government agencies, companies, road sign, radio TV etc etc, it all written spoke In English, or you need to speak English to enquiry. So sometimes mother tongue outside our school are as good as useless. I can share my state now with you, the last

Chinese word my son spoke to me when he was 10 years old, after that they just couldn't be bothered to speak any more, since all their friends spoke only in English. As parents we also can't force them to do what we want, it's very real that Chinese language or Mandarin will be ended in my generation.

3) About ladies first

In Singapore ladies first never out of date, we even share the housework, doesn't matter wife working or not. Singapore was so westernised that we will feel strange that your wife has to bring you slippers when you home.

5) People's images about Japan

War past

Prejudice against Japanese people I guess felt stronger in the older generation suffered in war time, and those people well knew about the history. Younger generation, just like those in Japan, war was just a distant past. I guess general Singapore had good impressions in Japanese, so do other communities. Impressions with Japan was generally good, beside its war past, Singapore maintains its cordial relationship with Japan and its peoples.

【Denmark】

1) About welfare system of Japan

The little I know about the Japanese welfare system tells me, the family carries a rather big responsibility. As an Exchange student back in the 1990's Japan, I was somewhat shocked to see an elderly man bringing his wife into hospital on the back of his bicycle! And met a man in his 50's ill with cancer who could not pay for his medical treatment, as he had lost his job and had no insurance covering. Also, I believe there may be less financial support for special needs families (mental illness included) as well as schooling and day Care and After-school sports and recreational activities for children and Youth. We enjoy free Doctor and hospital treatment. Danes accept the high income tax and I would never wish to change our system. These days, people and politicians discuss the flaws of the national psychiatric system since the rise in mental illness patients is resulting in lack of capacity for in hospital treatment. I wonder, if this is the sad result of the role of the family having been downplayed by the huge welfare system, so mental problems is the result of a withdrawn family network?

2) About Ladies first

It is something we allow and joke about at the same time challenging when possible but holding onto as a custom we wish to preserve.

2.4 プレゼンテーション資料

これはHNがB大学で担当しているTOEICのクラスの配信資料（2020年5月14日）である。COVID-19パンデミック中で対面授業ができなかったため、全体的な説明と一部の解説動画をZoomで録画し、YouTubeに限定公開したリンクをLMSにてこの資料と共に配信した。15回の授業分を毎週同じ形で配信し、学生からの質問には主に電子メールやLMSのフォーラム機能を使用した。他のコミュニケーションのクラスではZoomのミーティングを行ない、ブレイクアウトルームを使ってウェブ上で顔を合わせて授業を行なったが、その際には教材として教科書をそれぞれが所持し、使用する箇所を提示しながら授業を進めたため、自作の教材は使用しなかった。

5) May 14 (Thu) の課題

HN（メールアドレス記載）

問合せの時には「木1 学生番号 氏名」を忘れずに！

- (1) クラストップのお知らせを読んで今日のメニューを確認する（2分）
- (2) Lexinote⁽³⁾のHWL Test 7 (379-441)の範囲（Check 19-21）を実施する（15分）
- (3) 教科書“Longman Preparation Series for the TOEIC Test: Advanced Course 6th Edition” Part 2 Question ResponseのStrategy Overview (p.42)をよく読んで理解する。（10分）
- (4) 教科書p.41-46の音声教材（Glexa⁽⁴⁾ クラストップ）を聞き、解答する。（20分？）
- (5) この資料の最後にあるAnswer Keyを見ながら答え合わせをする。（5分）
- (6) 画像による解説（URLはGlexaクラストップに）を見て理解する。（10分）
- (7) Glexa上の、今日の日付のQuizを解いて、提出する。（5分）
- (8) Glexa上の、HWL Test 7 (379-441)（練習用）を使ってボキャブラリーの復習をする。（15分）

(9) Textbook p.42～46の解説

P.42 Strategy Overview (ここは、実際の英文を読んでみてから自分の理解の補助に使ってください)

前回と同じように①Languageと②TestのStrategiesがあります。まず、①の方では疑問詞 (5W1H) や助動詞などの疑問文での役割や、平叙文の構文を知ることで、どんな応答が求められているかを予想しながら聞くことができると説明しています。今日の範囲は46ページまで (後期に残りの部分をカバーします) なので、疑問詞4つに注目します。疑問詞ごとに10問あるのでそれぞれ何について聞かれるかが体得できることでしょう。②では、似た音の単語、繰り返される単語、文脈によって意味の変わる単語、読み上げられた文章の中のものに関連する単語はダミーとして使われやすいと書かれています。

Part2は実際のコミュニケーションが取れるかどうかを試されるパートです。生活の中でよく使われる表現がたくさん出てきますので語彙的にはさほど難しく感じませんが、多くの表現を身に付けている必要がありますので、ここに出てきた表現をよく覚えておくようにしましょう。

以下、かいつまんで解説します。

〈p.43: Who〉

5. Who's calling, please? →電話の会話であることがわかりますか? 「どちら様ですか」の意です。

→正解 (A) This is Ms. Garcia. 答えはこれですね。電話の場合は「私は (こちらは)」をThis isで始めます。

(B) The telephone is broken. 電話の会話であることがわかるだけではこちらを選ぶことも。

(C) She called the police. 問題文のcallingと、このcalledで受験者を混乱させています。

6. Who designed your office? →答えに人が来るのか会社が来るのか、そこが問題ですね。

→正解 (A) The same firm that designed my house did it. これが答えです。家とオフィスと同じ会社がデザインしたのですね。

(B) No one ate in the office. 答えが人になるはず！と思い込むとofficeという単語も出てくるし、これかと思う人もいるかもしれません。

(C) He offered me the sign. signとdesignで混乱させています。

〈p.44 : What〉

3. What were the effects of the salary increase? →昇給の効果は何？

(A) There was not enough celery. セロリとサラリーは音が似てますね。

(B) If you eat it raw, it's not harmful. まだセロリの話です。

→正解 (C) Not increased productivity, as you would expect. これが答えです。

「期待したであろうincreased productivity (せっかくなので知らなかったら調べてみましょう) じゃないのは確かだね」

6. What is my total hotel bill? →billが分からないと答えられません。調べましょう。

→正解 (A) Two hundred and fifty dollars, including tax. これが答えです。税込価格で総額。

(B) About 17 floors counting the ground floor. 「建物」の意味の「ビル」とbillは違うものです。

(C) Seven nights.

やはりbillが分からずtotalだけに頼るとこれも選択肢から外せなくなります。ボキャブラリーの豊富さは大事ですね。

P.45 : When

4. When did you first feel sick? →病院での会話でしょうか。

(A) It became thick when I added flour. sickとthickの引っかけですね。

(B) That wasn't the first time. firstがリピートされていますが内容が合いません。

→正解 (C) In the middle of the night. これが答えです。夜中から具合が悪くなった。

6. When is her next insurance payment due? →dueがわかれば答えられます。

(A) When she does it next. nextがリピートされています。

→正解 (B) In two more months. これが答えですね。あと2ヶ月でdue (調べて!) です。

(C) Whenever she can. wheneverに混乱させられますね。

p.46 : Where

1. Where did you learn to draw?

(A) With colored pencils. →whereなので道具について答える必要はないですね。

(B) It's not hard to learn. →「学ぶのは大変ではない」と言っていますので質問に答えていません。

→正解 (C) At art school. これが答えです。アートスクールで学んだんですね。

2. Where would you recommend we eat? →wouldがポイントです。お勧めのお店を聞いています。

(A) Take any seat you like. eatとseatが似ている上に「食べる場所」と考えると、「これかな」と迷いますね。

→正解 (B) There's a nice restaurant across the street. これが答えです。道を渡ったところにいいレストランがあります。

(C) We usually eat at seven. 疑問詞をWhenと聞き間違えるとこれを選ぶかも。かいつまんだ解説は以上です。他の問題で気になるものがあれば、いつでも個別に知らせてください。お答えします。

Answer Key: 著作権の関係により割愛

Exercise 1: Who (p.43)

Exercise 2: What (p.44)

Exercise 3: When (p.45)

Exercise 4: Where (p.46)

That's all for today! Next session will be on May 21nd. Till then, take care!

2.5 ワークシート

ワークシートは二ノ宮・二ノ宮（2010：25）において媒体が紙であると定義するとともに、電子化してパソコン上で同様のことを行なったり、電子メールで配布したりすることも可能であると指摘したが、現在ではパソコン・電子メールのみならず携帯端末やウェブ上のフォーム等でワークシートと同様のことが可能になった。特にCOVID-19パンデミック時のオンライン授業では、ワークシートを電子ファイルやウェブ上のフォームで送受信することにより授業内容を簡潔に示し、学生が課題に取り組みやすくなることができた。

2.6 提出課題

紙媒体の手渡し、電子メールでの受け取り、LMSを介しての課題提示ならびに受け取りを行なっている。提出課題の評価については紙媒体では添削の後スキャンして返却（後述の「2.7 学習リソースの保存」参照）、電子媒体のものについては文書作成ソフトウェア（Wordなど）で添削して返却している。

2.7 学習リソースの保存

学習リソースの保存についてはLMS、ハードディスクやSSDなどのストレージを用いる。保存の際にはデータを手入力する場合もあれば、スキャナを用いて電子化する場合もある。また、簡易な方法としてはスマートフォンによる撮影を行なうこともある。

2.8 学習リソースの保管

学習リソースの管理は、教科書以外は暗号化とバックアップにより複数の場所で保管をする。保管という性質上、詳述は控える。

3. おわりに

本稿では学習リソースの作成・使用・管理について述べてきたが、それを可能にしているのはアナログ技術とデジタル技術の融合である。紙媒体で文書・教材を作成し、それらを印刷し、それらに書き込みをする。さらに書き込みをした文書・教材を電子化することによって保存が可能になる。また、マニュスクリプトや教科書を参照しながら音声や動画により授業ファイルを作成することもある。具体的な機器としてはパソコン（ワープロ・表計算ソフト・プレゼンテーションソフト・動画ソフト）・プリンタ・スキャナーであるが、電子化の程度はその必要性によって変わってくる。学習リソースを全部電子化することは常時必要なわけではないが、電子化できるという体制が揃っていることは重要である。

タブレットやスマートフォンなどの携帯端末も学習リソースの使用の仕方を大きく変えている。今後の技術の進展や、それに伴う利用者にとっての簡便さが今後の学習リソースを大きく変える可能性がある。このことについては将来の論考として課題としたい。

参考文献

- 二ノ宮寛子・二ノ宮靖史（2011）『世界を知るために読む英語』松柏社
———、（2013）『英字新聞に見る世界の動き』松柏社
二ノ宮靖史・二ノ宮寛子（2008）「ほんとうに面白い『ニューヨーク・タイムズ』総合英語」松柏社

———. (2010) 「言語教育におけるワークシートの有効活用：大学英語を例として」『國學院大學北海道短期大学部紀要』第27巻, 23-40
梅棹忠夫 (1969) 『知的生産の技術』岩波書店

- ⁽¹⁾ 情報カードの成り立ちや詳細については梅棹 (1969) を参照されたい。なお、この書籍は電子書籍対応になっている (2024年11月現在)。内容は現在でも読む価値が十分にあるものであるが、電子書籍になったのには隔世の感がある。
- ⁽²⁾ シャッフルしたカードは次回の授業のために番号順に並べる必要があるが、記録の再確認のためにはちょうどよい作業である。
- ⁽³⁾ 英語の語彙知識と運用能力を付けるためのウェブノートで、単語の発音を確認しながら語彙習得を目指すために使用していた。
- ⁽⁴⁾ eラーニングシステムのひとつである。

